

改憲手続き法案を廃案に!

日本共産党
衆議院比例 東海ブロックニュース

2007年
5月9日
第15号

日本共産党衆議院比例東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十七号
電話 〇五二(六四)〇八三三 FAX(六四)〇八五〇
Eメール tokai-bl.cbpb.ne.jp

井上さん、八田さんが 憲法記念日に名古屋で訴え



5月3日、憲法記念日に「憲法九条を守ろう。改憲手続き法案の廃案を」と訴える、党愛知県委員会と井上さとし参院議員、八田ひろ子前参院議員、名古屋市議団のみなさん

憲法めぐる最近の世論調査

5月3日、日本国憲法は、施行から60周年の記念日を迎えました。

最近の新聞各紙の世論調査では憲法9条を評価する声が8割から9割を占めています。

「朝日新聞」(5月2日付)の世論調査では、78%が日本が平和であり続けたことに九条が役立つと答えた」と答えています。

「読売新聞」(4月6日付)でも、憲法が「日本に平和が続く、経済発展をもたらした」という意見には87%が「その通りだと思う」と回答しています。

04年6月に発足した「9条の会」を支持する草の根の「会」が6千を超えています。

ところが、安倍晋三首相は、戦後レジーム(体制)からの脱却を掲げ、憲法改悪への道をひた走り、「首相在任中に改憲を施行する」「改憲を参院選の争点にする」と明言しています。

「海外で戦争する国づくり」を許すのかどうか、9条を中心に激しいせめぎ合いが続く、憲法守れのたたかいは正念場を迎えています。

佐々木憲昭 衆議院議員 TBS「サタデーざぼん」出演 憲法、集団的自衛権で議論

5月5日、佐々木憲昭衆議院議員は、朝5時45分から7時30分まで、TBS系テレビ番組の「みのもんたのサタデーざぼん」に、コメンテーターとして出演しました。

他の出席者は、田丸美寿々(キャスター)、平沢勝栄(自民党衆議院議員)、河村たかし(民主衆院議員)の各氏です。

番組は、その時々話題になっているニュースをとりあげ、コメントするというやり方で進行。焦点になったのは、憲法問題です。

冒頭、田丸美寿々氏は、「安倍さんがいまの憲法を悪いもの、ネガティブなものとしてとらえていること自体がおかしい」と発言し

ました。

自民党の平沢氏や、民主党の河村氏は、いまの憲法が現状に合わなくなっているので「会わせることが必要だ」と述べました。

これに対して佐々木議員は、自衛隊をつくりイラクに派兵するなど、「(自民党政権が)憲法の条文にあわない状況をつくってきたことこそ問題だ。戦後60年、戦争しない国だったのは憲法9条があったからだ」と指摘しました。

平沢氏は、北朝鮮による拉致問題を持ち出して、改憲によって「(不審船などへの)武力行使は当然だと認める」と語りました。

佐々木議員はこれに、いま認められている警察的自衛手段で対応すべきだと指摘したうえで、「(平沢氏の)議論は、戦争につながる。この問題は、国際的協調のなかで解決されなければならない」と述べました。

後半は、集団的自衛権が話題となり、河村氏と、平沢氏が、ともに「集団的自衛権」行使の必要性を強調しました。

これにたいし佐々木議員は、「日本の憲法では(集団的自衛権は)絶対に認められない」と強く主張しました。

また、みのもんた氏が「軍隊を持てば徴兵制になるのでは?」と問いかけたのに対し、佐々木議員は「交戦権を認めて外国の戦争に行けば(自衛隊に)参加する人は少なくなる。そこで徴兵制(実施)の誘惑が出てくる」と危惧を表明しました。

